

遠距離実験高速サンプリングリアルタイム解析システム



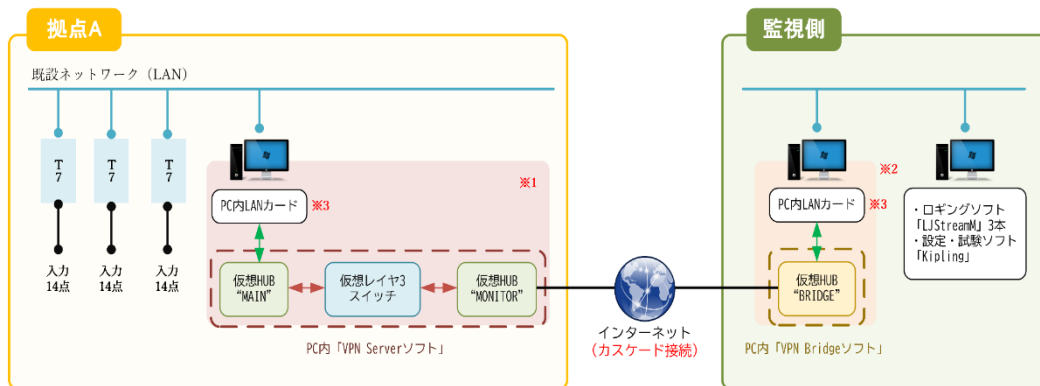
iDX-SME
Innovative DX Consortium for SMEs

課題

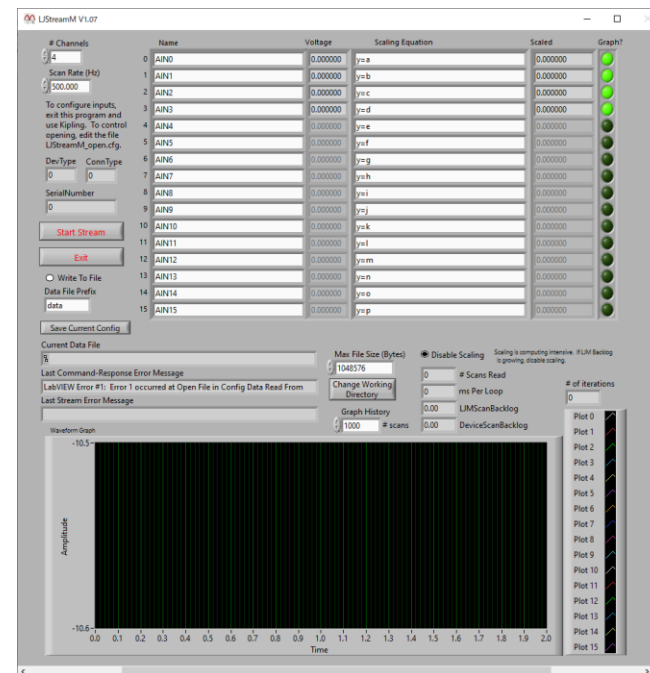
- 遠距離から検体を高速サンプリング(5ms以下)し、データ解析しアンサーを返したい
- 検体の測定値を別媒体を介さず遠隔の実験室デスク上で確認したい

LabJack T7 ネットワーク構成例

- Ethernet
- IPルーティング
- ローカルブリッジ接続
- DB37 (T7側) ⇄ BNCケーブル (センサ側)



- ※1 枠内は拠点LAN Iにある既設PC-A (仮名) の内部。PC-Aは、グローバルIPを持つが、VPNクライアントコンピュータから、TCP/IP 通信できる必要がある。
- ※2 枠内は拠点LAN Iにある既設PC-Bの内部。
- ※3 既存のLANカードを使用すると、VPN通信とローカルブリッジ接続を一つのLANカードで行うことになり、通信速度が低速になるため、ローカルブリッジ用LANカードの増設が推奨される。



効果

- 解析担当が遠隔に行かずとも離れた実験室でリアルタイム解析 & アンサーが可能になる